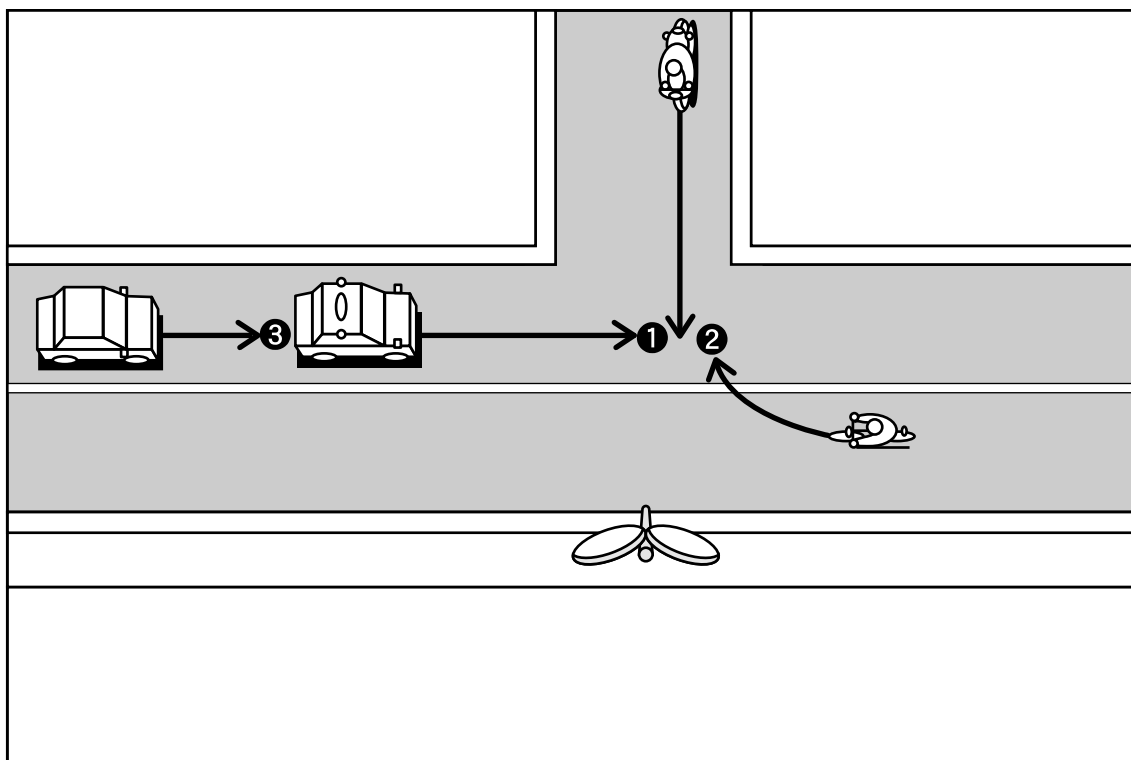


〔タクシー3〕住宅街の走行



1. 主な危険要因の例

- ① 前方左側に脇道があり、道路ミラーに二輪車らしき映像が映っているので、このまま進行すると、脇道から出てきた二輪車と衝突する危険がある。
- ② 道路の中央付近を走行している対向の自転車が、脇道に入るために右折してくると衝突する危険がある。
- ③ 急停止すると、後続車に追突される危険がある。

2. 安全運転の例

- ① 住宅街では、あらかじめスピードを落として走行する。
- ② 道路ミラーの設置されている場所では道路ミラーをチェックし、接近してくる車両があるときは、飛び出してくるかも知れないと考えて、いつでも停止できる速度に徐行して進行する。
- ③ 住宅街では、自転車が急に車の前を横切ることもよくあるので、自転車の動きにも十分注意する。

3. 乗務員指導のポイント

- ① 住宅街での主役は車ではなく、歩行者や自転車であることを認識させ、あらかじめスピードを落とすよう指導する。
- ② 見通しが悪く道路ミラーの設置されている場所は、他の場所に比べて飛び出しの危険が多い場所だと考えて、道路ミラーをチェックし、接近してくる車両や歩行者を見落とさないようにするとともに、徐行（必要に応じて一時停止）するよう指導する。